

2019年 決議審議会決議案 結果報告

国際ロータリー第2660地区
2017-20年度規定審議会代表議員 立野純三

決議案件数

総件数 33件 (採択 7件・不採択 26件)

2018年は55件 (採択 27件・不採択 28件)

提案国	今年	昨年
日本	12件	23件
インド	10件	1件
スイス (ドイツとの共同提案を含む)	3件	2件
フランス	2件	2件
ドイツ・カナダ・米国・ブラジル・オーストラリア・韓国・南アフリカ	1件	1件～

- インドからの提案が10件と昨年に比べ大幅に増え、日本に次ぐ提案数となりましたが、採択は1件しかありませんでした。

日本からの提案件数

12件（採択4件・不採択8件）

2018年度は23件（採択12件・不採択11件）

- 2660地区は2件提案、2件とも採択
- 2580地区(東京・沖縄)は5件提案、2件採択・3件不採択
- 2680地区(兵庫)は3件提案、敦賀RCは2件提案、共に全て不採択

2660地区から当初4件の決議案を提案しましたが、「RI準備金」に関する決議案はRI理事会、「クラブセントラルレポートの共有」決議案はRI担当委員会で継続審議中。よって決議案として審議する必要がないとRI決議審議委員会が判断し、ガバナー及び代表議員同意のうえで上程取り下げとなりました。

採択された2660地区提案決議案

ローターアクトクラブのための指針を推奨することを検討するようRI理事会に要請する件

(賛成 307票・反対 172票)

RIの税制上の地位の変更について、ロータリアンに情報を提供するようRI理事会に要請する件

(賛成 399票・反対 79票)

採択された決議案の中で最も多くの賛成票を得た決議案

今年の決議案の傾向

- 会員数が約14万人と米国の31万人に次いで多い、インドからの提案が昨年の1件から10件に増えています。インドの提案は、インド国内で解決すべき問題（地区指名委員会委員の資格・会費未徴収による人頭分担金の減額や支払い期日変更・地区大会で行うオンライン選挙規定・ヒンディー語による翻訳など）を国際ロータリーの場に持ち出している案件が散見されます。よって1件(グローバル補助金の予算修正を許可する)のみ採択。
- ここ数年上程されてきた「男性会員だけのクラブを問題視する提案」は上がっていませんが、ブラジルから提案があって否決されてきた「ロータキッズクラブの公式認定」がブラジルに変わって、オーストラリアから提案されましたが、今回も不採択。

- 敦賀RCから例年提案されている国家ロータリークラブ組織に繋がる提案が、地域フォーラム設立という表現で今回も提案されたが不採択。
- 2580地区（東京・沖縄）からは従来同様、「奉仕の理念」「職業奉仕による倫理観」を国際ロータリーは軽んじているといった問題意識から来る提案が今年も出され、それらは不採択となったが、「会員増強のための職業奉仕」「職業奉仕を含めたロータリー活動の広報」と「会員増強」や「広報」といった言葉を加えた決議案は採択。
- 「（例会で唱えるべき）標準宣誓文の採択」「（多様性と柔軟性の下、削除された）推奨ロータリークラブ細則の復活」「親切な行いの日行事の実施」「過去3年間にクラブがお世話した人や団体を例会等に招待する事」「クラブ戦略委員会の設置」といったクラブ運営に影響を与える提案があったが不採択。
- 新たな重点テーマとして、「環境正義」「高齢者と高齢化」「筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群」に取り組む提案や、グローバル補助金の制約を緩和する提案が出されたが、いずれも不採択。

地区ロータリアンの皆さんへ

R I の今後の方向性について、おかしいと思っていたり、ここは変えてはいけないと思っていることがあるのであれば、決議案や制定案を各クラブから積極的に出して欲しい。

* 例会やクラブフォーラムにてRI情報について話し合う機会を持たれるのであれば、卓話講師を地区規定審議委員会から派遣しますのでガバナー事務所へご依頼ください。